

# 坂のまち神戸プロジェクトとは

海と山が近く豊かな自然環境を有する神戸はその地形から、天然の良港や高台からの美しい景観を備え、また居住地においても高低差の多いまちである。長所も短所も併せ持つ坂のまちについて、「坂のまち神戸プロジェクト」として、様々なアプローチで議論を深め、取り組みに活かしていく。



詳しくはこちら



## 坂道フォトコンテスト 「あなたと坂」

期間：2024年9月30日(月)まで

写真を撮って送るだけで  
手軽に参加できます！豪華賞品も！



詳しくはこちら

開催中

## 坂のまちサミット!? 神戸 2024

2024年11月23日(土)・24日(日) 10:00~18:00  
海外移住と文化の交流センター 5階ホール

10月6日・20日のワークショップを受け、各方面から坂にアプローチする識者たち、神戸と日本各地の坂のまちの登壇者たちとともに、「坂とまち」「坂とまち並み」「坂と文化」「坂と暮らし」の4つのテーマを掘り下げます。各日とも、午前には神戸の坂を感じる2時間のまちあるきを開催します。

開催告知

### 会場案内

海外移住と文化の交流センター 5階ホール  
〒650-0003 神戸市中央区山本通3丁目19番8号



- ・JR・阪神「元町」駅東口から鯉川筋を北上し、徒歩約15分
- ・市営地下鉄「県庁前」駅より徒歩10分
- ・JR・阪神・阪急 三宮から市バス7系統「山本通3丁目」または「山本通4丁目」下車徒歩約3分
- ・新幹線「新神戸」駅からタクシーで約10分



会場について

お問い合わせ

坂のまちサミット運営共同事業体  
TEL 078-220-3924  
E-mail info@shiopro.net  
主催：神戸市

KOBE  
CITY of DESIGN

参加無料 | 要予約

坂のまち神戸プロジェクト

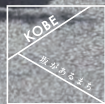
2024  
10月6日 SUN 14:00~17:30

# 坂のまち、神戸、あれこれ



2024  
10月20日 SUN 14:00~17:00

# 坂道と階段 激突!神戸! 坂段コレクション



坂を上がる  
心も上がる  
坂のまち、神戸

会場 海外移住と文化の交流センター  
5階ホール

2024

10月6日 SUN 受付 13:30~14:00 ~ 17:30 参加無料

# 坂のまち、神戸、あれこれ

出演者

上村亮太/慈憲一/角野史和/中尾嘉孝/野口志乃  
堀範子/前畑洋平/マスダマキコ/柳谷菜穂

神戸市内9区から各区の坂とまちをよく知る「まちの愛好家」9人が、自らが住み生活する区の坂とまちを語る。特徴的な坂、坂のある生活、坂トリビア……日々の暮らしの中での坂との関わり、斜面地集落の楽しみと苦勞、神戸特有の驚くような坂まち事情も飛び出すことでしょう。1人でも友人・家族とでもお気軽にご参加ください。身近な坂も登場するかも知れません。



先着80名  
予約は  
こちらから



2024

10月20日 SUN 受付 13:30~14:00 ~ 17:00 参加無料

参加者  
推し坂持ち寄り  
イベント

# 激突! 神戸! 坂段コレクション

司会者 森本アリ ショアプロジェクト  
コメンテーター 角野史和 こと・デザイン 松下麻理 神戸フィルムオフィス  
ゲスト かめ @kame\_\_0877 階段愛好家 from福岡

神戸には、灘「長峰坂」、須磨「きつね坂」、垂水「愛徳坂」……名前のついた有名な坂や階段がいくつもあります。ただ散歩をしているだけで絶品の坂や階段に遭遇することもあります。みなさんの心にとまった、ときめいた、あなたの「推し坂」「推し階段」を持ち寄り、会場のみなさんとゲスト、コメンテーターも交え、ただただ自慢し褒め称えディープに語り合う。ぜひ、あなたの推し坂を教えてください! 観覧のみも大歓迎です。

「推し坂」「推し階段」の写真は当日データをお持ちいただくか、予約フォームに記載してあるメールから受け付けております。



先着60名  
予約は  
こちらから



10/6

うえむらりょうた  
上村亮太  
美術家



1959年神戸に生まれる。「VOCA'97」展 上野の森美術館、「現代日本絵画の展望」展 東京ステーションギャラリー、「六本木クロッシング」展 森美術館など。1987年より個展、グループ展など多数。

東灘区

うつみけいいち  
慈憲一  
naddist



1966年神戸市灘区生まれ。別名naddist。坂がないと平衡感覚を失う生粋のサッカー。灘区の坂道を登るコミュニティバス「坂バス」の名付け親。灘区の坂に勝手に名前をつけたら「徹子の部屋」で紹介された。

灘区

かどのふみかず  
角野史和  
こと・デザイン



暮らしとともにある建物やまちを愛する散歩活動家・建築士・まちづくりコンサルタント。建築設計、住民主体のまちづくり支援・地域計画・地域振興に携わる。マップ狂が高じて2018年マップライブラリーGNUを開設。■10/20も登場します

長田区

なかおよしか  
中尾嘉孝  
港まち神戸を愛する会



1970年、神戸市兵庫区生まれ、生田区出身。坂の町・鈴蘭台から、中(市立星和台中)高(県立夢野台高)大(関西大法)と坂道の上の学舎に通う内に神戸のまちの語り部に。現在、港まち神戸を愛する会事務局長。

北区

のぐちしの  
野口志乃  
北野工作室



職業「神戸」。北海道出生 & 神戸にて没(予定)。原野原生林育ち神戸在住35年の建築家、ランドスケープアーキテクト。「試される大地」の出自ゆえか「計画的まち」にはアレルギー体質。狂歩家、ハンターハンター。

中央区

ほりのりこ  
堀範子  
垂水観光ボランティア



神戸市兵庫区出身、結婚を機に垂水区へ。神戸新聞の垂水区情報紙のライターがきっかけで、垂水の魅力にはまる。現在情報ブログ「垂水おもちゃ箱」を共同主宰、一方で、2006年より垂水観光ボランティアの一員として活動。

垂水区

まえはたようへい  
前畑洋平  
J-heritage



1978年生まれ。京都府出身、神戸在住。産業遺産コーディネーター・NPO法人J-heritage代表として産業遺産の価値と魅力を発信すべく活動中。居住地となった兵庫区のDEEPスポットの発掘を行っている。

兵庫区

ますだまきこ  
マスダマキコ  
造形作家



神戸市西区在住。「C.A.P.」を拠点に創作活動や、ワークショップを展開。アートユニット「マキコムズ」、ドングリからの森づくり「ドングリネット神戸」の他、プレーパークや森のようちえんの活動も。こども・あそび・自然・バカバカしいことが活動の鍵。

西区

やなぎたになほ  
柳谷菜穂  
柳谷縫務店



柳谷縫務店店主。建築士。2021年特技の裁縫を活かした地域密着型の縫製屋「柳谷縫務店」を開業。神戸市長田区に作業場を構え、オリジナルキャップの製作販売を中心に「縫う」をテーマにまちの困りごとを解決している。

須磨区

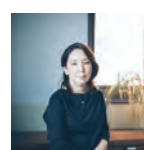
かめ  
階段愛好家



福岡県出身。西日本、主に長崎で気ままに階段巡りをしています。路地裏、商店街、海が見える景色、猫のいる景色も好き。時間を忘れて街歩きをしている時がいちばん幸せ。

10/20

まつしたまり  
松下麻理  
神戸フィルムオフィス



奈良市生まれ。神戸市内の3つのホテル、神戸市広報専門官・広報官を経て、現在は神戸観光局で神戸フィルムオフィスと広報を担当。プライベートでは、Artist in Residence KOBE(AiRK)の運営を行っている。

須磨区

もりもとあり  
森本アリ  
ショアプロジェクト



普段は音楽家と塩屋の築110年の海辺の洋館「旧グッゲンハイム邸」管理/運営人の2足のわらじ。「塩屋百人百景」「塩屋借景」発行。著作に「旧グッゲンハイム邸物語 未来に生きる建築と、小さな町の豊かな暮らし」がある。